

4 大涌谷における火山ガスの測定手法の開発

[総合評価]

火山噴火は、一昨年の御嶽山の噴火による人的被害以来、国民の関心が高まった。箱根山は神奈川県内に位置し、小規模ながら昨年より火山活動が続いているため、県として安全対策が急務となっており、本課題は緊急性と重要性の高い課題と言える。

当センターに火山ガス成分の測定が使命として課されたため、いかにして簡便かつ必要な精度を満たした測定を行うかが主要な課題となる。

当センターのこれまでの蓄積を活かせる可能性の高いテーマであることから、鋭意取り組まれることを期待したいが、あくまでも人が居住する環境での濃度測定がターゲットであると思われるので、低濃度の測定に特化して取り組まれることが必要と思われる。

神奈川県としては緊急な課題でもあり、県の中で技術を有する本センターが積極的に貢献しようとする姿勢を評価する。

短時間で実用化が求められる部分を含むテーマであるので、下調べを十分に行い、開発の方法性を見定めて進めていただきたい。

火山ガスの測定法について、近年実施される排ガス分析手法を適用することを計画されている。測定原理から問題はないと考えられるが、共存物質等の影響など丁寧に検討をされることを期待する。また、項目によっては、新たな分析手法を検討する必要もあると考えられる。テーマとして、結果を早く出す必要性も求められているが、過去の知見も含め、慎重かつ早急な対応を望む。

行政ニーズの高い研究テーマだと考える。

火山ガスのモニタリング体制を有する他地域との今後の連携にも期待したい。

測定方法のみならず、モニタリング体制や濃度予測（気象データから地域のSO₂濃度のシミュレーションを予測）についても、今後検討してはいかがか。

[数値的評価]

評価内容	評価項目	評点				
		5	4	3	2	1
課題設定の妥当性	背景と必要性	2人	2人			
	優先性	3人	1人			
計画の立案と実施方法	研究内容	1人	3人			
	計画の妥当性		4人			

5点満点（標準3点）の評点で5～1点の絶対評価